



令和七年度みなかみ町 二十歳の集い

1月11日(日)、カルチャーセンターにおいて、令和7年度みなかみ町二十歳の集いが開催されました。ロビーでは、爽やかな笑顔に晴れやかな姿が集まった二十歳の集いの参加者が、ふるさとみなかみで仲間たちとの久しぶりの再会を心から喜んでいる様子が見られました。

式典では、門出の日を迎えた祝福と温かい激励を込めた祝辞が送られ、参加者たちは真剣な表情で受け止めていました。また、式典に参加するご家族の姿も見られ、節目となる二十歳の集いは本人たちだけでなく、見守る側にとっても特別な一日となりました。

当日は105名(男性62名、女性43名)が参加し、夢や目標に向かって進む決意を新たにしました。記念品贈呈では、代表のクレイグ翔音ジェイコブさんが田村教育長からオリジナルUSB充電器を受け取りました。

記念講演では、公益財団法人日本自然保護協会の出島誠一さんをお招きし、みなかみの森林をテーマに、ネイチャーポジティブに関する取り組みを紹介していただきました。



日本自然保護協会 出島誠一さん

記念品贈呈
クレイグ翔音ジェイコブさん



水上地区



月夜野地区



誓いの言葉



小林 詩奈 さん

本日は私たちの二十歳の集いを開催するにあたり、多くの方々のご協力をいただき誠にありがとうございます。

これまで支えてくださった家族や先生、友人、地域の皆さまに心から感謝申し上げます。

私たちはこれから、責任をもって社会の一員として生きていきます。

困難に出会っても仲間と支え合い、前を向いて挑戦し続けます。

そして、この町で育った誇りを胸に、次の世代へと繋げていくよう努力していきます。

感謝の気持ちを忘れず、希望と笑顔をもって、新たな未来へと歩み出すことをここに誓います。

答辞



高野 桃羽 さん

十八歳が成人年齢となったことで「成人式」ではなく「二十歳の集い」という呼び方になりましたが、このような会を開催してくださったことで、いよいよ本格的に一人の「おとな」として社会に飛び込んでいく必要があるということを実感しております。

十代という壁を越え、社会を構成する一員として、ますます気を引き締めて今後の人生を送らなければならぬと感じている今の瞬間ですが、同時に社会で「おとな」として認められ、期待されていくであろう今後の生活には喜びとともに一抹の不安もあります。

先のない日本社会で自己を見失わずに生きていくために、色々な人と関わっていくなかで様々なスキルを身に付けていきたいと考えております。それはおそらく私一人だけでなく、ここにいる全員が同じ思いであること期待しています。(一部抜粋)



二十歳の集い
実行委員

二十歳の集い

みなかみ町



新治地区

二十歳の集い

みなかみ町

令和7年度

二十歳の集いフォトギャラリー

二十歳の節目を迎えた皆さんに「夢」や「目標」、「努力したいこと」や「挑戦したいこと」を思い思いに書いてもらいました。





幸福!

身長!

安定

大金持ち

筋肉

減量

起業

シクサ納車

彼女

貯金

大手内定

平穩

進級

酒豪卒業

初心

何にも負けない

愉快

和やか

音楽